

# —カリン—



カリンの幹



カリンの花と葉 (1)



カリンの花と葉 (2)

## ・カリン *Chaenomeles sinensis* (Thouin) Koehne

バラ目バラ科シモツケ亜科ナシ連カリン属、薬用部位は果実(偽果)で、唐木瓜(トウモッカ)、光皮木瓜という。和木瓜とも呼ぶこともあり、生薬としての「木瓜」がカリンのことを指すことも少なくない。

中国原産、落葉高木樹、高さ8 m内外、がくは花柄とともに無毛、倒円錐形、5裂。花弁は楕円形、下部に短い花爪がある。梨果は楕円形または倒卵円形。黄色に熟して芳香を放ち、果肉はかたく、生のままでは食べられない。酸味が強い。輪切りにしたものを乾燥させて用いる。

成分としてリンゴ酸、酒石酸、クエン酸などの有機酸、サポニン、タンニン等を含む。鎮咳、鎮痛作用を有する。

2019.4.19 4YM YH